



守山探検隊まちあるきマップ

森孝・四軒家地区散策コース ～区の境界を歩く～

守山区では、区民一人ひとりが自ら区の魅力を再発見し、それを区の内外に発信する目的で、平成11年を「探検元年」と位置づけ、区民を中心とした「守山探検隊」を結成しました。

平成19年度からは、一般公募により集まった「守山探検隊スタッフ」および区役所による実行委員会形式で、まちあるきイベントやマップ制作・発行を行っています。

このマップは、実際に「まちあるきイベント」で歩いたコースをまとめたものです。

(平成26年11月8日実施)



丸型ポストは
今では
珍しい形だね!



<森孝(森孝新田)>

大森村の支村。大森は豊かな村だったが、いつも矢田川の洪水に悩まされていた。そのため、南の台地に新たな生活の場として開墾を始めた。それが「森孝新田」。森孝新田の小字名は、西から「甲・乙・丙・丁・戊・己・白山」となっていた。本来なら地名は、その地域の自然的特色や歴史的な出来事から付けられるが、「甲・乙・丙…」は「A・B・C…」などと同じ単なる記号に過ぎず、開発の歴史は新しい。18世紀の半ば過ぎから住み始めたという。森孝という名称の由来ははっきりしないが、森孝の「森」は大森村の森、「孝」は高針村の高で「森高」と付けられていたが、高が後に親孝行の孝になり、現代の地名「森孝」となる。

<三軒家・四軒家>

森孝新田の山林の多くは、藩有林から尾張藩家老・成瀬家の所領となり、明治維新後は一時官有林となって後に民間に払い下げられた。成瀬家では、松林を看視するために管理小屋を建て、自分の部下を配置したことから地名の起源となった。なお四軒家を今は「シケンヤ」と呼ぶ人が殆どだが、正式には「ヨンケンヤ」と読む。



【発行】 守山探検隊実行委員会

【問合せ】 守山探検隊実行委員会事務局(守山区役所地域力推進室)
〒463-8510 名古屋市守山区小幡一丁目3番1号
TEL:052-796-4524 FAX:052-796-4508
E-mail: a7964522@moriyama.city.nagoya.lg.jp



コースの主な見どころ

1 米田城跡やなだ(築田が城跡)



築城時期や城主は不明。築田氏の城代が守っていたとも言われている。領域は東西約100m以上、南北50m程の規模。北と東は急な崖、南と西が堀のように明治維新の頃までは堀跡や堀跡があったという。

2 定納公園じやうのう こう えん



「定納」「定免」ともいって各地にみられる地名。また、豊凶にかかわらず、毎年一定額の年貢を納めさせる土地をいい、藩の年貢収入を安定させる定納法(定免法)と呼ぶ徴税法であった。凶作時の農民には厳しい定納の掟でもあった。

3 足助道あすけ みち



瀬戸街道(旧大森役場跡)から分かれ、大森橋を渡り、米田城跡の東から山口街道を渡り森孝新田に向かう旧道。三軒家から四軒家を経て長久手市役所(岩作城跡)から三河に入り、足助へ通じた道である。

4 山口街道



名古屋城の東側、東大手から古出来町、猪子石を経て、現在の森孝西小学校の北側を通り、尾張旭の稲葉、三郷、そして瀬戸の山口に至る細い道であった。名古屋への往来に利用された道である。

5 丸型ポスト



郵便の大型化、利用増加に伴い現役引退した丸型ポスト。その後、森孝西小学校に郵便教材として展示。平成26(2014)年に児童代表者らも化粧直しを手伝い、一般用として同年6月25日に名古屋市内で5番目として再登場した。

6 野墓のぼ



野墓では、中央の台に棺を、もう一つの台に供物や線香を供え、僧侶の読経で野とむらいを行い埋葬した。六地藏は、昔子どもや幼児の死亡も多く、子どもの延命を祈るためのものだった。昭和30年(1955)年代頃まで行われていた。

7 桜並木



八剣神社前の通りに続く桜並木。戦時中、東西に陸軍の兵器補給廠の建設が進められ、2カ所の用地が広い道路で結ばれた道。昭和55(1980)年4月、学区独立を記念し桜の木が植えられた。

8 八剣神社やつるぎじんじや



「八剣」という名称は、熱田神宮の別宮で宝剣をご神体とする「八剣宮」に由来するといわれている。大森の八剣神社から文政9(1826)年分祀。毎年10月第2月曜日に秋の例大祭が行われる。参道横には、農業振興事業碑がある。

9 行者堂ぎやうじや どう



13~15歳位の男子が先達に連れられ、奈良の大峰山に詣でる掟があった。崖の上から「親の言うことを聞くか」と言われながら下を覗く「のぞき」をする。下山して帰ると「サンゲ、サンゲ」と言いながら行者堂でお参りをした。

10 三十三観音堂



西国三十三カ所の観音霊場を人々は「講」を結成し巡拝した。その時の参拝記念に建てられ、西国巡礼に行けなかった人達も巡拝した気持ちでお参りをした。横にある馬頭観音は、細く淋しい道であった山口街道の道標として作られた。

11 泰永寺たい えい じ



義恵山、真宗大谷派の寺院で、ご本尊は阿弥陀如来。昭和52(1977)年に森孝二丁目(旧森孝新田)に建てられたのち、二世住職の主導のもと、平成21(2009)年に現在の場所に寺地を移転、移築された。

12 弘法堂こうぼう どう



本尊の弘法大師像は、細工師京谷清六氏によって製作された。右・東が秋葉社、左・西が津島社。「秋葉講・津島講・弘法講」の三講合同。毎年4月21日に近い日曜日にお供え物を持参し、参詣者に施される。